

MILNEBAY DIVESITE



*Milne Bay Dive Site Map
Present by ALOTAU Dive & Tour*

解説:

ミルンベイのダイブサイトは5つのダイブサイトにわかれています

- ① **ミルン湾内エリア**／水底は砂泥底・川から多くの養分を含んだ水が常に供給され小魚の種類が多く魚影も濃い。アマモの群生がありジュゴンが住んでいる。沈船ポイントやサンゴの綺麗なポイントなどバラエティー豊かなポイントがある。
- ② **半オープンエリア**／水底は砂泥底と粗砂底が入り混じる。上(北)側が細長く張り出しているのが特徴のミルン湾。更に南側から北東側に一定方向に流れるカレントが半オープンエリアにあっている。潮の干満で起きるカレントの動きと合わさり時折やや強めの流れが水面付近に起きる事がある。湾中央付近のリーフ、湾北側の無人島から張り出した大きなリーフがあり、ギンガメアジなどの群れも見られる。またハシナガイルカ、ハンドウイルカが南側と北側とに住み分けている。8月後半から9月後半を除いてメインのポイントが多い。
- ③ **北側エリア**／水底は粗砂底。ソロモン海の北側はドロップオフのポイントが多くカレントがある。ドロップには幾つかの棚がありロウニンアジ、マダラトビエイなどのホーバリングポイントにもなっている。透明度が比較的好く6月から9月は特に透明度のよい時期で時折30moverとなる。アロタウからは2時間以上かかるが時期によってはメインとして使う。
- ④ **オープンエリア**／水底は粗砂底。ここにはPNG-No1 (LonelyPlanet)ともいえるポイントがある。半オープンエリアと同じくカレントが常にあり、大小様々なリーフが点在する。ソロモン海とサンゴ海との交わる場所で特に魚影の濃いポイントが多い。ジンバイザメ、ハンマーヘッドなどの大物やピグミ-シ-ホ-ス、アケボノハゼなどの小物も見られる。
- ⑤ **南側エリア**／水底は砂泥底と粗砂底が入り混じる。サンゴ海のこのエリアは小物の魚影が濃い。チャイナストレートと呼ばれる海峡(平均5ノットを超える流れ)がダイブサイトの近くにあるので時折きついカレントを受ける。透明度は比較的落ちるがマンタレイのホーバリングポイントがある。